



## 2024年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社テー・オー・ダブリュー

コード番号 4767 URL <https://tow.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村津 憲一

問合せ先責任者(役職名) 取締役兼執行役員管理本部長 (氏名) 舛森 丈人 (TEL) 03-5777-1888

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 2024年3月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年6月期第2四半期の連結業績(2023年7月1日~2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	9,563	49.6	1,333	100.8	1,348	98.9	893	—
2023年6月期第2四半期	6,392	△6.3	663	△13.7	677	△14.3	17	△96.7

(注) 1. 包括利益 2024年6月期第2四半期 808百万円(—%) 2023年6月期第2四半期 △70百万円(—%)

2. 2024年6月期第2四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益の対前年同四半期増減率は1,000%を超えるため、「—」と記載しております。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年6月期第2四半期	円 銭 22.14	円 銭 22.08
2023年6月期第2四半期	0.41	0.41

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2024年6月期第2四半期	百万円 14,145	百万円 9,039	% 63.8	円 銭 222.28
2023年6月期	11,194	8,427	75.1	208.86

(参考) 自己資本 2024年6月期第2四半期 9,028百万円 2023年6月期 8,411百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年6月期	円 銭 —	円 銭 7.20	円 銭 —	円 銭 7.20	円 銭 14.40
2024年6月期	—	7.00	—	—	—
2024年6月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年7月1日~2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	35.9	1,748	51.9	1,777	50.8	1,172	229.6	28.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想については、本日(2024年2月8日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年6月期2Q	48,969,096株	2023年6月期	48,969,096株
② 期末自己株式数	2024年6月期2Q	8,349,752株	2023年6月期	8,696,752株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年6月期2Q	40,383,366株	2023年6月期2Q	42,380,714株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績の予想につきましては、現時点で入手可能な情報を基に作成しており、実際の業績は、今後、様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会経済活動及び生活行動の本格的な活性化がみられ、緩やかな景気回復基調が期待されるものの、金融面・地政学面・供給面等の世界的な変動影響が懸念される等、先行き不透明な状況が継続しております。

当社グループを取り巻く事業環境については、主力事業であるイベント領域において、リアルイベントを中心に回帰の動きが本格化したことや、大型展示会の開催も寄与し、大幅な伸びを示しました。オンライン領域においては、デジタル広告市場の成長鈍化等を背景とした影響は受けているものの、リアルとオンラインのハイブリッド型イベントの増加により堅調な推移となりました。

当社グループの事業は単一セグメントであります。当社グループの業務を「リアルイベント」「オンラインイベント」「オンラインプロモーション」及び「その他」と分類しております。

当第2四半期連結累計期間におけるカテゴリーごとの売上高は次のとおりであります。

#### ①リアルイベント

リアルイベント回帰への動きが本格化し、街頭プロモーションや展示会等の大型案件の受注が増加したことにより、売上高は66億27百万円（前年同期比91.9%増）となりました。

#### ②オンラインイベント

リアルとオンラインのハイブリッド型イベントの増加等により、売上高は10億62百万円（前年同期比48.7%増）となりました。

#### ③オンラインプロモーション

SNS・動画活用プロモーション、デジタル広告等の各種オンラインプロモーション施策の引き合いは継続しているものの、案件単価の減少により、売上高は17億13百万円（前年同期比16.8%減）となりました。

#### ④その他

官公庁・団体からの案件受注により、売上高は1億59百万円（前年同期比2.3%減）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は95億63百万円（前年同期比49.6%増）、営業利益は13億33百万円（同100.8%増）、経常利益は13億48百万円（同98.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億93百万円（同4,993.7%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (1) 財政状態

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ29億51百万円増加し、141億45百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ30億18百万円増加の125億67百万円となりました。これは主に、電子記録債権が97百万円減少しましたが、受取手形、売掛金及び契約資産が17億54百万円、現金及び預金が13億30百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ67百万円減少の15億78百万円となりました。

固定資産のうち有形固定資産は、前連結会計年度末に比べ13百万円減少の1億50百万円となりました。これは主に、減価償却等によるものであります。

無形固定資産は、前連結会計年度末に比べ25百万円増加の52百万円となりました。これは主に、のれんが18百万円増加したこと等によるものであります。

投資その他の資産は、前連結会計年度末に比べ79百万円減少の13億74百万円となりました。これは主に、繰延税金資産が33百万円増加しましたが、投資有価証券が1億11百万円減少したこと等によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ23億41百万円増加の47億6百万円となりました。これは主に、買掛金が19億53百万円、未払法人税等が3億23百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ2百万円減少の3億99百万円となりました。これは主に、その他が13百万円増加しましたが、退職給付に係る負債が11百万円、繰延税金負債が7百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ6億12百万円増加の90億39百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が85百万円減少しましたが、利益剰余金が6億3百万円、自己株式の処分により80百万円増加したこと等によるものであります。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて13億30百万円増加し、71億11百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は17億32百万円(前年同四半期は9億98百万円の使用)となりました。これは主に、売上債権の増加額が16億29百万円ありましたが、仕入債務の増加額が19億55百万円、税金等調整前四半期純利益が13億48百万円あったこと等によるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は8百万円(前年同四半期は2億6百万円の獲得)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出が6百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が3百万円あったこと等によるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は3億94百万円(前年同四半期は20億12百万円の使用)となりました。これは主に、配当金の支払額が2億89百万円、長期借入金の返済による支出が1億4百万円あったこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

### (1) 今後の見通し

通期の業績は当初計画(2023年8月9日公表)に対し堅調に推移しておりますが、わが国経済並びに広告業界の先行きは不透明な状況にあります。

このような状況の中、リアル領域の拡大、さらなるオンライン領域拡張への取り組み、高付加価値の提供によるフィー型業務及び発注適正化による収益確保を引き続き推進いたします。

販売費及び一般管理費につきましては、下半期はサステナビリティ方針に基づき、戦略的な人的資本への投資として、下半期より平均年収6.7%のベースアップ、採用の強化、教育研修への投資、事業の成長に向けた重点テーマへの取り組み等の基盤整備として、AI技術を含むデジタルテクノロジー、環境領域等に費用投下を進めてまいります。

通期連結業績予想につきましては、上半期の業績が当初計画を上回ったこと、上記人的資本及び重点テーマへの取り組み等への積極的な投資による販売費及び一般管理費の上積み分を加味し、下記のとおり修正いたします。

売上高：160億円(前連結会計年度比35.9%増)

営業利益：17億48百万円(同51.9%増)

経常利益：17億77百万円(同50.8%増)

親会社株主に帰属する当期純利益：11億72百万円(同229.6%増)

今後、状況の変化により必要な場合には、あらためて業績予想の変更を検討し公表いたします。

(2) 配当について

当社の配当方針は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題のひとつと認識しており、安定した配当を継続して実施していくことを基本としております。

配当金につきましては1株につき中間配当金7円、期末配当金を7円、通期で14円を予定しており、2023年8月9日の公表から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,781,523	7,111,581
電子記録債権	169,462	71,992
受取手形、売掛金及び契約資産	2,289,845	4,044,448
未成業務支出金	233,944	235,095
未収入金	868,090	853,980
前払費用	143,459	211,595
その他	62,446	38,736
流動資産合計	9,548,770	12,567,431
固定資産		
有形固定資産		
建物	170,108	170,108
減価償却累計額	△66,850	△72,033
建物(純額)	103,257	98,074
工具、器具及び備品	252,455	243,057
減価償却累計額	△191,348	△190,403
工具、器具及び備品(純額)	61,106	52,654
リース資産	3,826	3,826
減価償却累計額	△3,763	△3,826
リース資産(純額)	63	—
有形固定資産合計	164,428	150,728
無形固定資産		
投資その他の資産	26,937	52,612
投資有価証券	1,191,888	1,080,327
保険積立金	19,655	19,655
繰延税金資産	33,292	67,139
敷金及び保証金	196,938	195,623
その他	12,474	12,062
投資その他の資産合計	1,454,249	1,374,808
固定資産合計	1,645,615	1,578,149
資産合計	11,194,386	14,145,580

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
電子記録債務	4,543	25,928
買掛金	986,011	2,939,669
短期借入金	840,000	840,000
未払法人税等	66,485	390,003
賞与引当金	46,288	36,564
役員賞与引当金	—	15,156
その他	421,911	459,122
流動負債合計	2,365,241	4,706,444
固定負債		
退職給付に係る負債	283,220	271,744
役員退職慰労引当金	29,590	32,350
繰延税金負債	80,331	73,073
その他	8,768	22,573
固定負債合計	401,911	399,740
負債合計	2,767,152	5,106,185
純資産の部		
株主資本		
資本金	948,994	948,994
資本剰余金	1,228,732	1,247,422
利益剰余金	7,601,149	8,205,077
自己株式	△1,957,226	△1,876,526
株主資本合計	7,821,650	8,524,968
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	589,778	503,960
その他の包括利益累計額合計	589,778	503,960
新株予約権	15,805	10,467
純資産合計	8,427,234	9,039,395
負債純資産合計	11,194,386	14,145,580



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年7月1日 至2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年7月1日 至2023年12月31日)
売上高	6,392,568	9,563,974
売上原価	5,317,428	7,803,730
売上総利益	1,075,140	1,760,244
販売費及び一般管理費	411,161	426,860
営業利益	663,978	1,333,384
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	14,601	18,575
雑収入	934	2,065
営業外収益合計	15,535	20,640
営業外費用		
支払利息	1,266	1,372
売上債権売却損	50	—
譲渡制限付株式関連費用	—	4,490
雑損失	349	104
営業外費用合計	1,666	5,967
経常利益	677,847	1,348,057
特別利益		
固定資産売却益	69	341
保険解約返戻金	24,825	—
特別利益合計	24,894	341
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別功労金	647,200	—
特別損失合計	647,200	—
税金等調整前四半期純利益	55,541	1,348,399
法人税、住民税及び事業税	86,846	429,391
法人税等調整額	△48,853	25,119
法人税等合計	37,992	454,510
四半期純利益	17,549	893,888
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,549	893,888

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	17,549	893,888
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△87,562	△85,818
その他の包括利益合計	△87,562	△85,818
四半期包括利益	△70,013	808,070
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△70,013	808,070
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	55,541	1,348,399
減価償却費	25,343	22,525
のれん償却額	—	2,054
株式報酬費用	11,722	14,874
譲渡制限付株式関連費用	—	4,490
保険解約返戻金	△24,825	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	△400
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10,375	△11,724
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,549	15,156
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	9,593	△13,571
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△173,680	2,760
受取利息及び受取配当金	△14,601	△18,575
支払利息	1,266	1,372
固定資産除売却損益 (△は益)	△69	△341
特別功労金	647,200	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,246,260	△1,629,708
未収入金の増減額 (△は増加)	△173,314	△60,857
棚卸資産の増減額 (△は増加)	54,370	△968
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	23,656	32,480
仕入債務の増減額 (△は減少)	785,012	1,955,477
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△43,289	45,294
その他	422	△199
小計	△41,985	1,708,537
利息及び配当金の受取額	14,601	18,172
利息の支払額	△1,259	△1,358
特別功労金の支払額	△647,200	—
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△322,308	7,399
営業活動によるキャッシュ・フロー	△998,151	1,732,750
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,879	△894
無形固定資産の取得による支出	△8,842	△6,734
投資有価証券の取得による支出	—	△566
有形固定資産の売却による収入	188	342
敷金及び保証金の差入による支出	△2,023	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△3,150
保険積立金の解約による収入	219,407	2,913
投資活動によるキャッシュ・フロー	206,850	△8,090
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△1,694,000	—
長期借入金の返済による支出	—	△104,586
ストックオプションの行使による収入	20	15
リース債務の返済による支出	△413	△68
配当金の支払額	△318,306	△289,960
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,012,699	△394,600
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,804,000	1,330,058
現金及び現金同等物の期首残高	8,590,452	5,781,523
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,786,451	7,111,581

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループはイベント・プロモーション企業として同一セグメントに属するイベント・プロモーションの「分析・調査」・「戦略立案・コンセプト策定」・「企画提案」・「実施制作」・「効果検証」並びにそれに付帯する業務を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。